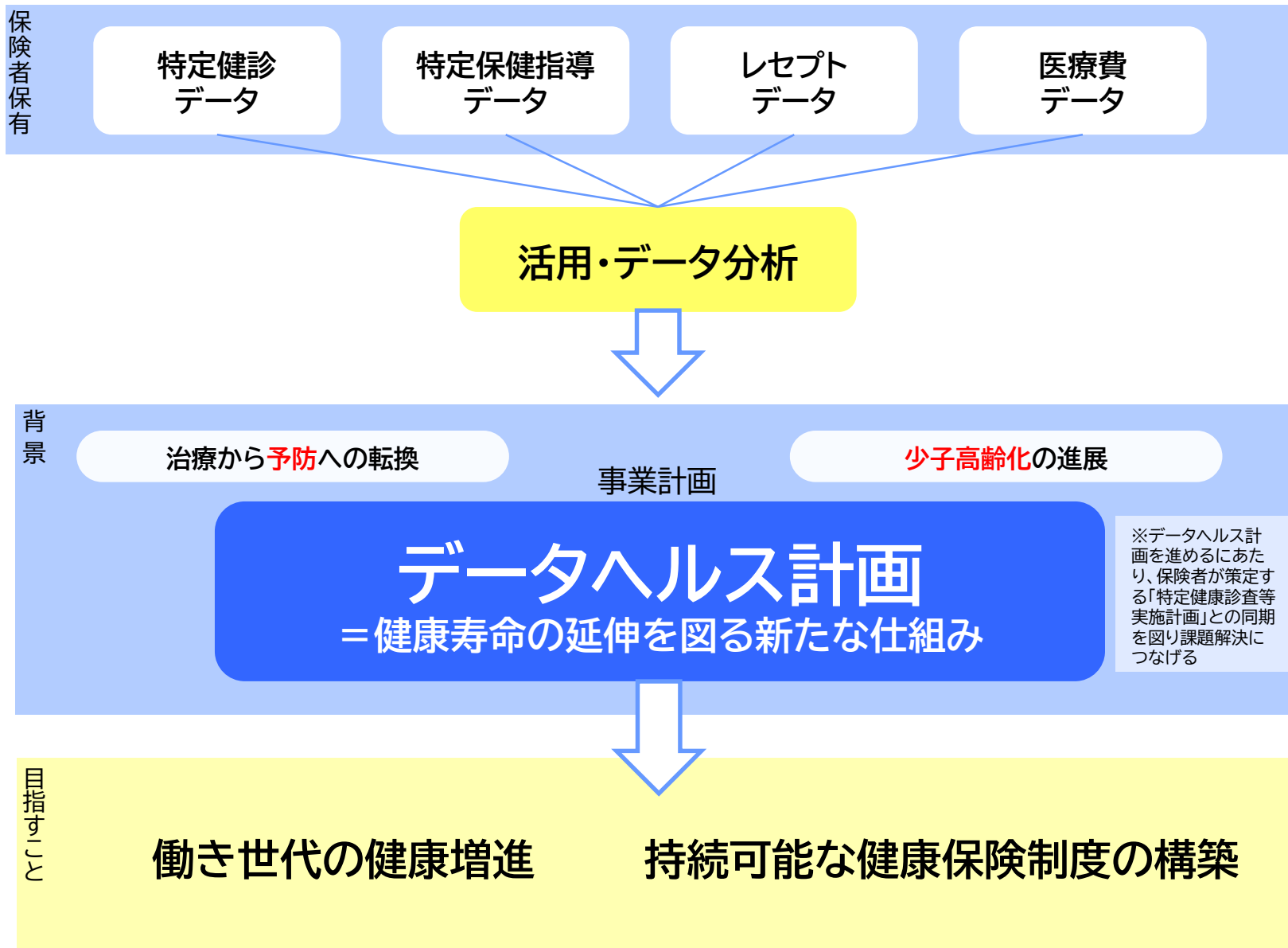


データヘルス計画に基づく 保健事業の現状及び課題





データヘルス計画について





第3期における福井支部の取り組みの柱

I. 特定健診・特定保健指導 の更なる推進

(特定健診・特定保健指導データ 等)

II. 「血圧リスク保有者」 割合の減少

(レセプト・医療費データ 等)



I. 特定健診・特定保健指導の更なる推進

▶令和6年度における福井支部の方針

第3期初年度により、今期のデータヘルス計画を円滑に進めるため、**「顔の見える地域ネットワーク」**を意識した取り組みを検討・順次実施中

勸奨先	カテゴリー	課 題
<u>健診機関</u>	生活習慣病予防健診	① 健診機関不足地域の顕著な健診低受診率
	特定保健指導	② 健診機関による特定保健指導実施率の伸び悩み
<u>県・市</u>	データヘルス計画	③ 情報共有・連携の強化と標準化
<u>事業所</u>	生活習慣病予防健診	④ 小規模事業所の健診受診率向上
	特定保健指導	⑤ 中規模事業所への継続的な働きかけ



健診機関への働きかけ

▶ 課題① 健診機関不足地域の顕著な健診低受診率

対策①	福井県医師会・市医師会への働きかけ
方 法	支部長による幹部訪問(県:事務局長 市:会長)
結 果	分析データを提示し、現状報告と協力要請

対策②	検診車保有健診機関への重層的な働きかけ
方 法A	担当者への協力依頼
結 果A	不足地域での検診車巡回健診日程の拡大、了承 (日程数:2日→7日 / 実施可能数:150人→550人)
方 法B	支部長による幹部訪問(担当部長)
結 果B	・巡回健診の令和7年度 継続実施の早期打診、了承 ・3月に一斉発送する健診案内にて検診車巡回健診の広報を行う予定

対策③	不足地域の健診機関への働きかけ
方 法	支部長による幹部訪問(健診センター長(医師))
結 果	令和5年度から実施可能件数を年間180件増加いただいている状況の中、 令和6年4月から8月までの5か月間で、前年同期間比+216件 ⇒年度内の予約は4月時点で受付終了したが、当初設定した実施可能件数を 増やして実施しているとのこと



健診機関への働きかけ

▶ 課題② 健診機関による特定保健指導実施率の伸び悩み

対策	健診実施トップシェア機関への働きかけ
方 法	支部長による幹部訪問(健診機関理事長)
結 果	・分析データを提示し、現状報告と協力要請 ・特定保健指導体制の見直しと、拡大実施を約束

対策	特定保健指導実施機関への働きかけ
方 法	支部保健師による訪問
結 果	・9機関を訪問のうえ、担当医師・センター長・保健師等からヒアリング ・医師から声掛けを行ったうえで、保健指導につなげる工夫などが見られた ・令和7年度の実施件数増加に向けた契約内容の見直しを提案



県・市への働きかけ

▶ 課題③ 情報共有・連携の強化と標準化

対策①	県への働きかけ
方 法	支部長による幹部訪問(健康政策課長)
結 果	・ウォーキングラリー事業の連携実施(アプリ連携) ・データヘルス計画の内容や今年度取組み事業の共有

対策②	協定締結先(8市)への働きかけ
現 状	・市主催イベントへの参加、広報協力、分析用データの提供 ・協定締結以降、継続的な連携が図れている市がある一方、形骸化している市がある
方 法	支部長による訪問
結 果	・協会けんぽにおける県内市町別のデータ分析結果を提供 ・データヘルス計画、特定健診・特定保健指導事業について意見交換 ・支部と共通課題(血圧・運動)の取組みについて状況や課題を聴取 ・市のイベントや健康づくり事業等について情報共有
今後の取組	・福井市・坂井市のイベント参加(継続)に加え、新たに小浜市の食のイベントにブース出展予定 ・共同事業の検討(減塩事業・出前授業等) ・8市における連携事業の標準化を図る(継続的な関係性の構築)



事業所への働きかけ

▶ 課題④ 小規模事業所の健診受診率向上

対策①	小規模事業所への受診勧奨案内(新規)	
方 法	県と福井支部連名での受診案内の送付	
結 果	・昨年度及び今年度受診率20%以下の小規模事業所を中心に5,000事業所に送付 ・県の「職域がん検診体制整備奨励金」※事業を合わせて案内	

※がん検診推進のための今年度事業。がん検診を受診するための体制を整備した場合、1人につき5,000円(上限15万円)を支給。

対策②	健康保険委員を活用した受診促進	
小規模事業所の課題	1) 健康保険委員の委嘱率が低い 2) 健診受診率が低い	
要因(仮説)	小規模事業所は健康保険の事務担当者を立てにくい 1) 小規模事業所への文書勧奨未実施(全事業所向けの広報のみ実施) 今年度から健康保険委員の目標設定が被保険者カバー率+事業所カバー率へ 2) 事務担当者が不在のため、健診の受診促進や管理が困難 知識不足の中、個々人による健診予約が負担となり、受診率低迷	
1)の対策・結果	小規模事業所(9人未満)に特化した健保委員文書勧奨を実施 R5 (R5.4~R6.3) 勧奨数 5,179件 / 委嘱数 297人 R6 (R6.4~R6.9) 勧奨数 4,947件 / 委嘱数 1,340人	
2)の対策・今後の取組	・健康保険委員を活用し、健診予約につなげる仕組みを検討・実施 ・年に1回、健康保険委員の知識向上と情報共有及び、委員の役割を周知徹底する機会(研修会等)の検討・開催	

半期で昨年度の
4.5倍取得



事業所への働きかけ

▶ 課題⑤ 中規模事業所への継続的な働きかけ(特定保健指導)

アプローチ先

- ① 特定保健指導実施側(健診機関・専門機関・支部)⇒課題②にて実施機関へ働きかけ
- ② 特定保健指導利用側(事業所・対象者) ⇒ 特定保健指導実施未契約の健診機関で生活習慣病予防健診を受診した事業所から選定

対策	中規模事業所への訪問勧奨
方 法	支部長による幹部職訪問予定(10月以降順次)
選定方法	・健康意識の比較的高い事業所(健康づくり宣言・健康保険委員あり) ・健診受診率が高いが、特定保健指導実施率が低い事業所 ・特定保健指導実施未契約の健診機関で健診を受診している事業所 ・幹部への勧奨を実施していない中規模事業所
今後の取組	○勧奨結果や課題に応じ、支部保健師等と連携し、重層的に働きかけを行う



Ⅱ.「血圧リスク保有者」割合の減少

血圧リスクにおける福井支部の特徴

- ▶ 特徴① 血圧リスク保有割合の増加 (特定健診データより)
- ▶ 特徴② 入院外医療費に占める高血圧性疾患者の割合の増加 (レセプトデータより)
- ▶ 特徴③ 脳血管疾患・高血圧性疾患による年齢調整死亡率が高い (福井県データより)



Ⅱ.「血圧リスク保有者」割合の減少

生活習慣・地域性による福井県の特徴

特徴	全国順位
○ 運動習慣要改善者の割合	男性 5位 ・女性 4位
○ 年間降水日数	1位
○ 自家用車保有率	1位
○ スポーツジム数(人口当たり)	3位

特徴	全国順位
○ 共働き世帯	1位
○ お惣菜消費量	1位



血圧リスク × 福井県の特徴	カテゴリー 課 題	
	<u>運動</u>	① 運動習慣の定着
	<u>食事</u>	② 食のリテラシー向上(減塩対策)

運動に関する取り組み

▶ 課題① 運動習慣の定着

様々なシチュエーションやニーズに応じた媒体・ツールを提供

対策①	ウォーキングラリーの推進(継続)
方 法	・第4回 令和6年9月～11月の開催 ・ウォーキングアプリを活用し、3人1組で参加申込 ・今年度は県のウォーキング事業「はぴウォーク2024」と連携
結 果	87事業所 430チーム 1,234人参加あり(前年度:64事業所 413チーム)
対策②	事業所対象 健康づくり講習会の実施(継続)
方 法	・健康保険委員委嘱事業所の特典として健康づくり講習会を実施 ・外部専門業者に委託し、講師を派遣(オンライン実施あり) ・健康体力チェック、筋力・体幹トレーニング、正しいラジオ体操、腰痛・肩こり予防体操
結 果	44事業所 958名申込 (受付上限枠50事業所)
対策③	健康体操の動画配信・DVD提供(継続)
方 法	協会けんぽホームページにて5種類の健康体操を配信(Youtubeへリンク)
結 果	延べ再生回数1,866回(DVD提供は希望事業所に配布)
対策④	運動に関する健康ポスターの配布・提供(継続)
方 法	申込事業所にポスター配布、ホームページにポスターデータ掲載
結 果	114事業所 306枚配布、その他ホームページからダウンロードあり

チームで
コミュニケーション
活性ツールとしても
有効



食事に関する取り組み

▶ 課題② 食のリテラシー向上(減塩対策)

対策①	市主催の食に関するイベントへの参加
方 法	・「健康づくり推進に向けた包括的連携に関する協定」より、市と連携した健康づくりを推進 ・市から市主催の健康イベントへの参加依頼あり
結 果	・小浜市が開催する食のイベント「市場deマルシェ」に初参加予定（令和6年11月23日開催時に出店） ・小浜市はデータヘルス計画において、減塩対策に注力している
対策②	食事に関する健康ポスターの配布・提供(継続)
方 法	申込事業所にポスター配布、ホームページにポスターデータ掲載
結 果	61事業所 181枚配布、その他ホームページからダウンロードあり
対策③	被扶養者を対象とした特定健診会場での情報発信(予定)
方 法	・被扶養者を対象とした協会けんぽ主催の特定健診(集団健診)を開催 ・令和6年度は夏、秋、冬の時期に計22会場で開催 ・令和7年度も健診受診の定着に向けて開催を予定
今後の取組	・特定健診対象被扶養者の多くは40歳以上の女性 ・食(減塩)に対する情報を直接提供できる場として、ポスター掲示やリーフレットの配布、DVD上映等を検討する



ご意見・ご要望等について

健診・特定保健指導、データヘルス計画、その他健康づくり事業について、
ご意見・ご要望等をお聞かせください。